政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 勝野 龍平：全国商工会連合会専務理事

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	悪くなっている	毎月実施している小規模企業景気動向調査（全国約300商工会の経営指導員報告調査）のDIでは、今年6月、7月においては、4月の大幅な落込みから、弱い動きながらも若干の持ち直しの兆しが見えていたが、8月は、逆に全業種において景況感が悪化し、全体業況は、消費税率引上げ後、最も低い水準まで落ち込んでいる。燃料費や電気料、仕入れ材料単価が上昇しており、さらに天候不順も加わり、特に、製造業、小売業で採算がより厳しくなっている。
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	―	急速な円安の進行によるエネルギー・原材料価格の更なる上昇により、経営環境の悪化が懸念される。円安メリットを享受する大手企業が、部品調達の際、下請け中小企業に対し、円安メリットを還元する努力が必要。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	―	既に膨大な財政債務を抱えてしまっている現状下、縮小均衡政策では、財政健全化は達成は困難。成長を通じた償還原資の確保は不可欠と考える。無駄な歳出カットは当然であるが、聖域なき歳出削減ではなく、政策にメリハリをつけ、特に、成長戦略に必要な財政支出は果断に実施すべき。他方、高齢化の進展の中で社会保障費の増加は不可避であるので、これを可能な限り圧縮するため、医療改革等の制度改革を更に思い切って行うべき。

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 勝野 龍平：全国商工会連合会専務理事

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	女性の働き方に中立的な制度設計は重要と考えるが、その際、少なくとも各戸の家計所得水準が、新たな制度導入によって減少することのないよう、制度設計を行うことが重要と考える。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	